

木造住宅用振動抑制装置

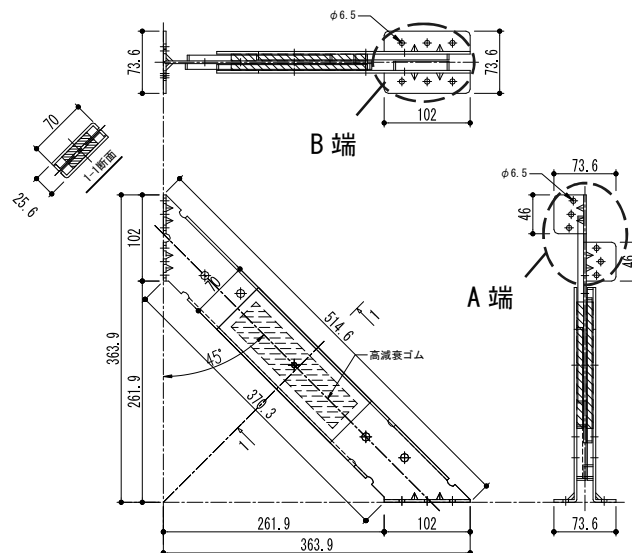
取付要領書

1. 内容物 (1 セット)

- ・ダンパー本体 : 4 個
- ・付属ビス : 1 袋 (50 本入り)
L65mm 四角穴 (SQ No.3)
(50 本 : 12 本 / 個 × 4 個 + 予備 2 本)
- ・取付要領書



2. 本体寸法



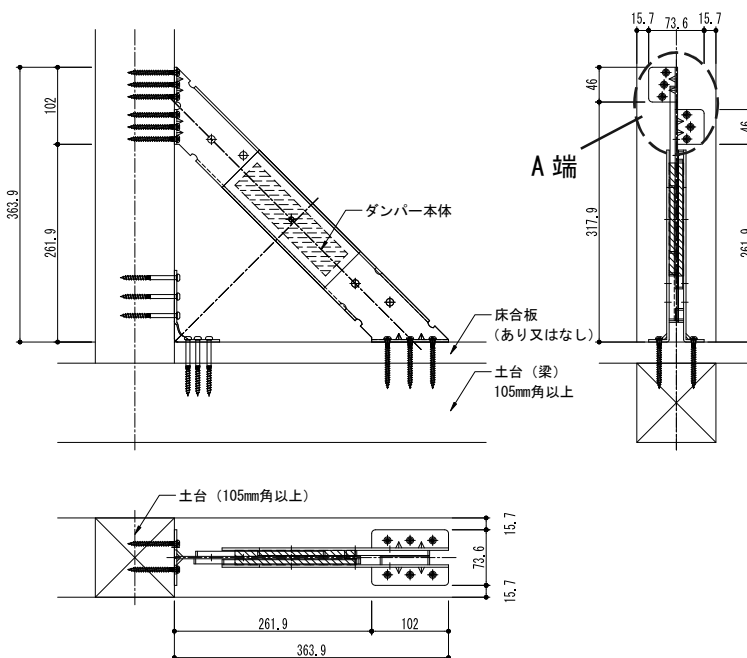
3. 使用工具

- ・インパクトドライバー
- ・四角ビット3番 (ロングタイプ)

4. 施工方法

ダンパー本体は下図のように、柱と土台・横架材部分に取り付けます。

- ・ダンパーと柱や土台・横架材との間に隙間ができないようにしてください。
- ・筋交いと併用しない場合は、A 端を柱に取り付けても、土台・横架材に取り付けても問題がありません。
(柱、土台の断面が 105×105mm の場合を示す。)

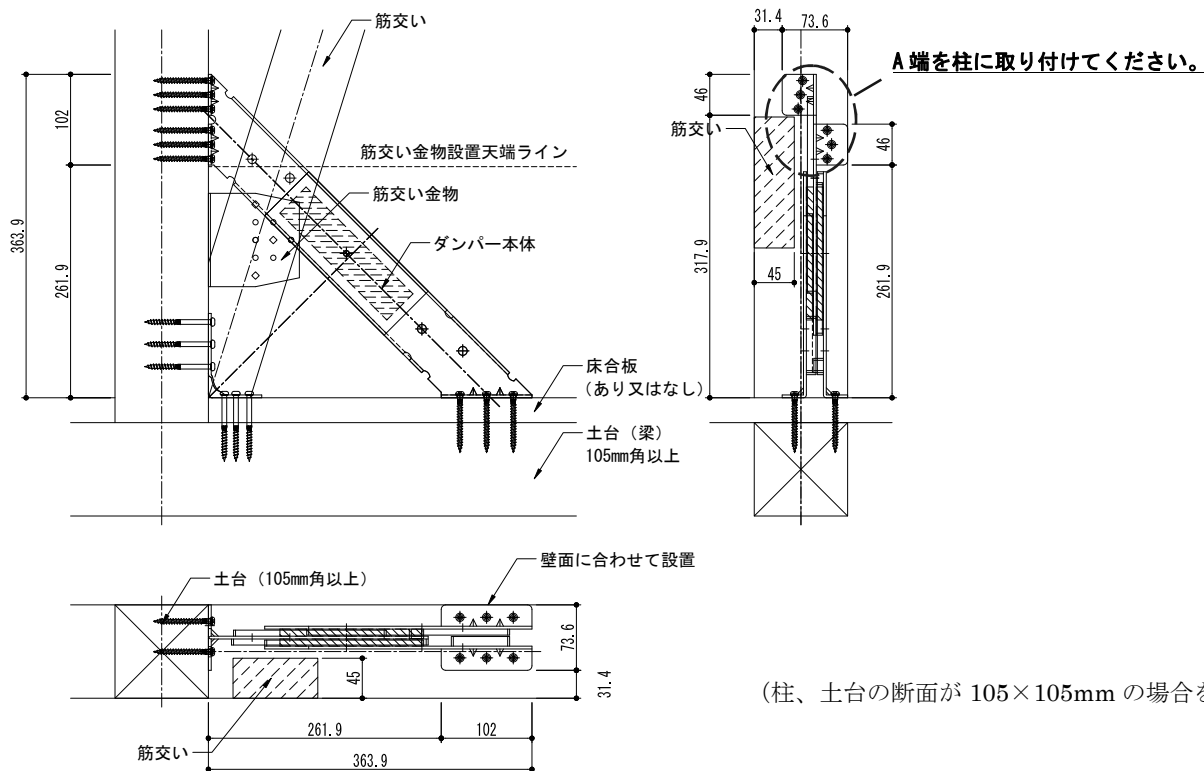


※枠組壁工法、リフォームについては、「6. その他の留意事項」をご確認ください。

裏面もお読みください

5. 筋交い部への取付

- ・柱頭・柱脚金物、筋交い金物、ダンパーの位置関係を確認した上で、取り付けてください。
- ・ロングタイプの四角ビット3番をご使用ください。

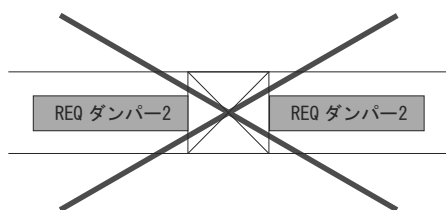


(柱、土台の断面が 105×105mm の場合を示す。)

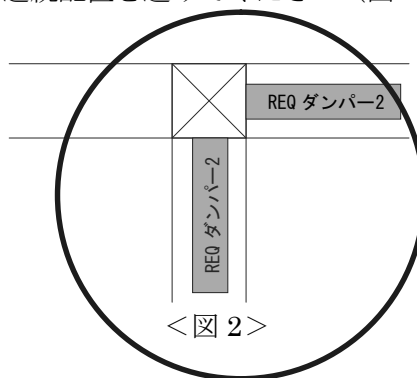
6. その他の留意事項

(a) 連続配置について

- ・柱への負担が大きくなりますので、一直線上の連続配置を避けてください (図1 参照)。
- ・図2のような直交方向の隣接設置は可能です。



<図1>



<図2>

(b) 周辺部材

- ・柱、梁の断面は 105×105mm 以上としてください。
(90×90mm の場合も可能です。その場合は 90×30mm 以上の添え材で補強してください。)
- ・枠組壁工法の場合は、REQ ダンパー-2 設置側のたて枠は 204 材 3 本以上としてください。
- ・設置壁に梁の継手がある場合は、継手を一体化する補強を行ってください。
- ・リフォーム工事でご使用の場合は、取付け部 (柱、土台・横架材) の状況を調査し、必要に応じて、修繕・補強を実施してください。取付け部が健全でない場合、ダンパーの性能が十分に発揮されない場合があります。